

見事な秋晴れの土曜日。広島からJR山陽本線に乗り、三原駅で降車した。駅構内で出迎えてくれた大きなだるまを横目に、改札を抜けて西口へと向かった。ロータリーには「三原〜甲山」という電光掲示板をヘッドに携えたバスが待っていた。いよいよ三原から世羅まで出発だ。

バスに乗車し、席に余裕があれば、運転士から斜め左のいちばん前の席に座るのがおすすめ。前方の景色と、横の景色が楽し



江戸前そばをはじめ
丁寧な創作料理が並ぶ

広島では珍しいそば料理やお酒が楽しめるお店。そば文化が根づく関東で長く暮らした店主による、本格的な江戸前そばをはじめ、そば粉やそばの実を使った創作料理も注目だ。レトロで趣のある店舗ながらバリアフリーなのうれしい。



市場には出回らない、長野県佐久市産の薬用人参の天ぷら 1000円

今回のバス旅は、あくまで「ぶち旅」と題してショートトリップが目的だ。三原〜甲山線は本数が少なく、すべてのバス停を途中下車し、再度乗るということがちょっと難しい。そこで、今回はバスで行けて楽しめるスポットを紹介。普段、車で何気なく通っている道も、バスに乗ることで違った景観や趣を感じ取ることができるからおもしろい！ それでは、出発すること

める。バスはゆっくりと動き出し、走り出した。帝人通りを抜け三原市役所方面へ。その後、街の喧騒から離れ、久井方面へと県道25号線を通り、山を上っていく。バスからの景色は、車が高いつ、普段乗る乗用車とはまた違った景色を望むことができる。三原と久井方面を結ぶ県道25号線沿いは、初夏には深緑の生き生きとした葉、秋ごろには紅葉、冬にはちらつく小雪を見ることができると、四季折々の表情を見せてくれる情緒あふれる道だ。バスには老夫婦と、高校生ぐら

01 ぶち旅

三原 MAP P9

蕎麦厨風 SOBAKURIYA KAZE

0847-32-6730 (要予約)



蕎麦粉チヂミ1000円、蕎麦の実の蒸し物(4名分)1200円、そばプリン400円

店主
池田さん

石走
バスに揺られて
気の向くままに

ミハラッセ流 バスぶらり旅

2017年、三原と世羅(甲山)を結ぶ路線バスのダイヤが減る……。ミハラッセは、そんな今だからこそ提案します！「バスに乗って、三原・世羅に出かけよう！」忘れかけていたあの景色、そしてバスに乗って出かけるワクワク感。今回、ミハラッセは三原・世羅を結ぶ中国バスに乗車して、バスで行くことができるスポットを紹介します！

